



千代田動物病院 SDGs 宣言

CHIYODA ANIMAL HOSPITAL



当院は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、積極的な取り組みを通じて、質の高い情報提供および社会貢献に努めてまいります。

院長 生島 広樹

当院のSDGsへの取り組み

当院は命を預かる者としての責任を胸に患者様とご家族様、従業員、そして地域に寄り添う医療機関でありたいと考えています。

患者様とご家族様に寄り添う



受診に来られる患者様とご家族様に寄り添い、利便性の向上や安心安全を追求することで、患者様とご家族様が感じる不安の軽減を目指します。

<具体的な取り組み>

- 落ち着いた過ごせる待合室の工夫や受診前の声かけなどを行うことで、患者様とご家族様の不安を軽減します
- 予約システムを導入し利便性の向上に寄与します
- 技術導入を図り、患者様とご家族様の治療に伴う精神的負荷を取り除きます
- グリーフケアの重要性を理解し、患者様とご家族様に寄り添います

従業員に寄り添う



より高いホスピタリティの提供のため、従業員の成長と働きがいの向上に貢献します。

<具体的な取り組み>

- ハラスメント対応と高いコンプライアンス意識の醸成を会議や弁護士等専門家の知見を元に行っています
- 学会参加や研修といった自己研鑽に向けた補助を行い、より高い水準でのサービス提供を支援します
- 流動的な勤務形態やささやかなイベントを大切に、従業員が働きやすいと感じられる環境の整備を行っています

地域に寄り添う



地域との共生は当院の使命と考え、地域の中で持続的な成長を目指し、その発展に向けた取り組みを続けます。

<具体的な取り組み>

- 医療廃棄物や抗生物質の適正処理を行い、環境負荷の軽減に努めます
- 保護猫に対する活動や大学との連携を通して、ヒトと動物の双方が生きやすい世界を目指します
- 再利用可能品の活用・再生紙の利用を進め、持続可能な環境づくりに貢献します
- 学生に対して職場見学を行い、地域の教育体制の充実を支援します
- 動物の育て方や接し方について正しい知識の提供を行うことで、未永く健康的な生活に貢献しています



SDGsとは・・・Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略であり、2015年9月に国連で採択された世界共通の目標です。2030年までに政府、企業、地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています